

スキルスラボ棟



世界の獣医系大学で3校だけ、 日本で唯一の 建物丸ごとスキルスラボ棟

スキルスラボとは生体を使わず、シミュレーターで臨床手技を習得する施設のことであり、動物に負担をかけず何回もトレーニングすることができます。スキルスラボは獣医系大学で導入されつつありますが、建物の全てがスキルスラボのスキルスラボ棟があるのは本学を含めて世界の獣医系大学で3校だけで、日本では唯一です(2023年時点)。施設内には臨床手技ごとに臨床検査実習室、生産動物実習室、大動物実習室、外科実習室、麻酔実習室、臨床繁殖実習室、画像診断実習室、そして完全に動物病院を再現した模擬動物病院があり、約70個のシミュレーターや実習機器が用意されています。獣医学類の学生は3年生からこの施設を利用した実習で、獣医師が初日に具備すべき105個の臨床技術(Day One Competences)を習得します。例としては、採血、気管挿管、牛・馬の直腸検査、人工授精、内視鏡検査などをシミュレーターで習得することができます。また実習時間以外も学生はこの施設を利用して、自由にトレーニングを積むことができます。さらに獣医学類の学生のみならず獣医保健看護学類の学生もこの施設を利用することができます。



- 1 臨床検査室／クリーンベンチ、全血球計算装置、電解質計測装置、血液生化学検査装置、遠心分離機、サーマルサイクリャー、オートクレーブなどさまざまな機器を用意しています
- 2 生産動物臨床実習室B／牛、子牛、羊、ブタ、子ブタ、ニワトリなどのシミュレーターを使用し、注射法や採血、ハンドリングと保定の練習などを行います
- 3 臨床繁殖実習室／牛の繁殖学教育模型を使用し、直腸検査の練習、未経産牛および経産牛の人工授精のトレーニング、日齢に応じた妊娠診断の練習を行います
- 4 画像診断実習室／模擬X線撮影台で人形を用いた撮影ポジショニングの練習や、読影練習モニターでX線、CT、MRI画像をモニターに表示し、読影の練習を行います
- 5 大動物臨床実習室／馬の全身モデル、頭頸部モデルのシミュレーターを使用し、頭絡、馬着装着などの馬の取り扱いの基本技術、各種注射法、X線検査などの練習などを行います
- 6 模擬動物病院／待合室や受付、薬剤調剤室、処置室があり、実際の動物病院を想定した実習を行うことができます